



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松屋フーズ  
コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 緑川 源治  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 小松崎克弘

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	19,496	1.7	286	—	295	—	49	—
26年3月期第1四半期	19,177	0.2	4	△97.5	5	△97.4	△87	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 52百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △95百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第1四半期	2.61	—
26年3月期第1四半期	△4.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第1四半期	56,777	33,343	58.7	1,749.62
26年3月期	57,879	33,519	57.9	1,758.87

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 33,343百万円 26年3月期 33,519百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	38,570	△0.3	630	△1.2	670	6.6	100	△44.3	5.25
通期	79,810	1.1	2,480	5.6	2,560	8.8	860	24.6	45.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	19,063,968 株	26年3月期	19,063,968 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	6,670 株	26年3月期	6,670 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	19,057,298 株	26年3月期1Q	19,057,427 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴い設備投資等の増加等、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、原料・燃料高による価格上昇、海外景気の下振れ等の景気を下押しするリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、家計収入の増加期待から、洗練された高付加価値商品への顧客ニーズが高まり、迅速な対応を求められる環境となりつつあります。一方で、食材価格の上昇、業種を超えた企業間競争の激化等は加速しており、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、第二の主力業態として、とんかつ業態を中心に新店出店し、直営のとんかつ業態6店舗、牛めし業態2店舗（内、FC1店舗）の合計8店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし定食店4店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第1四半期連結会計期間末の店舗数はFC店及び一時休業店を含め、1,041店舗（うちFC7店舗、海外3店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし定食店973店舗、とんかつ業態54店舗、鮎業態7店舗、その他の業態7店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、7店舗の一部改装を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、新商品として「筍牛めし」「味噌漬け牛カルビ定食」「和風おろしハンバーグ定食」「タッカルビ風鶏の甘辛味噌炒め定食」等を導入いたしました。また、「山形だし牛めし」「夏野菜トマトカレー」等の季節商品の販売や、「牛焼肉定食」「カルビ焼肉定食」の増量キャンペーンを実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比101.8%と前年を上回ったこと等により、前年同期比1.7%増の194億96百万円となりました。

売上原価につきましては、食材の仕入単価変動等により、原価率が前年同期の34.7%から33.2%に改善いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期と同水準の65.3%となりました。この要因は、アルバイト・パートの平均時給の増加等により、人件費の売上高に占める割合が前年同期の34.2%から34.7%と上昇した一方、前期以降の不採算店の撤退等の効果により、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の31.1%から30.6%と改善したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の68.9%から67.9%へと改善いたしました。

以上の結果、営業利益は2億86百万円（前年同期は営業利益4百万円）、経常利益は2億95百万円（前年同期は経常利益5百万円）、四半期純利益は49百万円（前年同期は四半期純損失87百万円）となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は567億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億2百万円減少いたしました。このうち、流動資産は115億24百万円となり、原材料及び貯蔵品の在庫が6億4百万円増加した一方、現金及び預金が11億7百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末に比べ6億2百万円減少いたしました。また、固定資産は452億52百万円となり、減価償却による減少等によって、前連結会計年度末に比べ4億99百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は234億34百万円となり、未払法人税等の支払い等によって前連結会計年度末に比べ9億25百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は333億43百万円となり、配当金支払いによる利益剰余金の減少等によって前連結会計年度末に比べ1億76百万円減少となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の57.9%から58.7%と向上しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,853,232	6,745,483
受取手形及び売掛金	372,157	374,693
商品及び製品	243,228	255,740
原材料及び貯蔵品	2,201,014	2,805,283
繰延税金資産	494,518	416,963
その他	963,130	926,421
流動資産合計	12,127,283	11,524,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,623,225	15,188,239
機械装置及び運搬具(純額)	1,522,040	1,455,635
工具、器具及び備品(純額)	1,640,621	1,561,111
リース資産(純額)	401,584	613,225
土地	10,266,030	10,266,030
建設仮勘定	12,902	26,254
有形固定資産合計	29,466,403	29,110,497
無形固定資産		
ソフトウェア	190,439	173,383
その他	19,173	25,036
無形固定資産合計	209,613	198,419
投資その他の資産		
投資有価証券	173,568	173,701
敷金及び保証金	13,118,451	13,045,480
長期前払費用	586,545	570,381
店舗賃借仮勘定	74,930	63,029
繰延税金資産	1,134,254	1,102,677
投資不動産(純額)	637,673	634,350
その他	361,444	365,391
貸倒引当金	△10,650	△11,141
投資その他の資産合計	16,076,218	15,943,871
固定資産合計	45,752,235	45,252,788
資産合計	57,879,518	56,777,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,577,431	1,982,226
短期借入金	344,971	954,146
1年内返済予定の長期借入金	3,489,964	3,489,964
未払金	2,516,690	2,409,048
リース債務	157,321	169,719
未払法人税等	993,267	127,496
賞与引当金	902,394	436,581
役員賞与引当金	—	149
資産除去債務	—	729
その他	1,091,734	1,232,890
流動負債合計	11,073,775	10,802,951
固定負債		
長期借入金	11,570,551	10,698,060
役員退職慰労引当金	582,100	582,100
リース債務	263,974	481,514
資産除去債務	689,929	691,434
繰延税金負債	14,184	14,258
その他	165,647	164,029
固定負債合計	13,286,387	12,631,396
負債合計	24,360,162	23,434,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	19,946,684	19,767,644
自己株式	△13,012	△13,012
株主資本合計	33,552,749	33,373,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181	267
為替換算調整勘定	△33,574	△30,951
その他の包括利益累計額合計	△33,393	△30,684
純資産合計	33,519,355	33,343,024
負債純資産合計	57,879,518	56,777,373

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	19,177,664	19,496,421
売上原価	6,646,715	6,475,858
売上総利益	12,530,948	13,020,563
販売費及び一般管理費	12,526,320	12,733,811
営業利益	4,628	286,752
営業外収益		
受取利息	10,356	9,322
受取配当金	17	1,217
受取賃貸料	63,717	66,100
その他	39,717	44,579
営業外収益合計	113,808	121,219
営業外費用		
支払利息	52,344	41,016
賃貸費用	54,033	55,648
その他	6,165	15,620
営業外費用合計	112,544	112,286
経常利益	5,893	295,684
特別利益		
固定資産売却益	236	—
固定資産受贈益	2,628	—
特別利益合計	2,864	—
特別損失		
固定資産除却損	1,634	1,404
店舗閉鎖損失	247	25,025
固定資産売却損	7,854	8,160
減損損失	—	17,231
その他	1,560	3,354
特別損失合計	11,297	55,175
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△2,540	240,508
法人税、住民税及び事業税	68,039	81,883
法人税等調整額	17,110	108,977
法人税等合計	85,150	190,861
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△87,690	49,647
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△87,690	49,647



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△87,690	49,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	85
為替換算調整勘定	△7,518	2,623
その他の包括利益合計	△7,477	2,708
四半期包括利益	△95,168	52,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,168	52,356
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月25日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、当第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,687千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	228,687	12	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金